

謹賀新年

の花エコプロジェクトといった循環型社会形成への取り組み、ごみ処理問題を抱える海外への技術支援・環境指導の取り組みなどが高く評価されたものです。この受賞は昨年の環境大臣表彰に続く受賞となり、町民一人ひとりの環境問題に対する高い意識のもとで官民一体となって長年にわたりリサイクルに取り組んだ成果であり、受賞された関係者の皆さまにお祝いを申し上げますとともに、ご協力いただいている町民の皆さまに改めてお礼申し上げます。

皆さまもすでにご承知のとおり、鹿児島県が有明高校跡地に整備を進めております『大隅陸上競技トレーニング拠点施設（仮称）』の建設工事などが、いよいよ今年から本格的に始まります。この施設は、オリンピックに出場するようなトップアスリートにも対応可能な施設を目指しており、私ども地元自治体といたしましても、県の施設との相乗効果を最大限に発揮できるように、この施設を核とした交流人口の増加や、観光関連産

業の振興を図る『食』でもてなす『陸上競技の聖地』実現プロジェクトを進めております。このプロジェクトの一環として、昨年11月には、男子400mハードル日本記録保持者の為末大さんと、リオデジャネイロ・パラリンピック陸上男子走り幅跳び銀メダリストの山本篤さんをお迎えして、講演会やトークショー、小中学生を対象にした陸上教室を開催しましたが、このような取り組みを通して、町内外の方に『陸上競技の聖地』としてのイメージの定着や地域づくりを進めてまいることとしております。

この他にも、全国の皆さまから多額の寄附を頂きました『ふるさと納税』を『ふるさと応援基金』として積み立て、主に『子ども医療・福祉分野』『環境分野』『定住促進分野』の財源として活用しております。これまでに、子ども医療費助成制度の対象を高校卒業までに拡充、小中学校の机椅子などの更新、定住住宅取得補助金の交付などを行い、これらの分野の施策充実を図ってまいりました。

昨年までの取り組みは、テレビ・新聞などでも数多く取り上げられ、「大崎町は頑張っているね。」と町内外の方から声を掛けられることが多くなってきました。私自身も、本町の未来に明るい展望が開けてきたように感じています。

今後も、住民に一番身近な自治体として共生協働を念頭に、子育てや学校教育環境の充実、高齢者などの保健福祉の充実、農林水産業・商工業の振興、住宅環境の整備、『陸上競技の聖地』づくりなどに、住民の皆さまのご協力をいただきながら全力で取り組み、『期待される大崎』『元気な大崎』をつくってまいりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。結びに、新しい年が、皆さまにとって幸多き年となりますよう祈念申し上げます、年頭のあいさついたします。

平成29年1月

大崎町長 東 靖 弘